

2024 年度 台湾研修 報告書

医療科学部 放射線技術学科 2 回生 福満 悠

台湾研修概要

日程は 8 月 25 日から 8 月 31 日までの 7 日間でした。

訪問先は元培醫事科技大學、國泰病院、台安病院、Big city、映像医学博物館、中正記念堂、西門町、ラオハ夜市、九份、台北 101 などに行きました。

研修内容は、元培醫事科技大學で中国語研修や学生との文化交流などを行い、國泰病院や台安病院で院内見学、観光として西門町やラオハ夜市、九份、台北 101 などに行きました。

本研修に参加した目的と目標

私が台湾研修に参加させていただいた理由は、台湾の人々や文化、日本の病院との違いについて知りたいと思ったからです。また、台湾の方々と積極的に交流を行い、知見を広げるとともに、日本語以外の言語によって相手に思った事を伝える能力を鍛えたいと思いました。

学内研修で学んだこと

学内研修では、歴史資料館で元培醫事科技大學の歴史や教えなどを学ぶ事ができました。また、中国語の授業があり、ボランティアの方に助けていただきながら楽しく学ぶ事ができました。

学外研修で学んだこと

学外研修では、國泰病院と台安病院の 2 つの病院の見学をしました。國泰病院では部屋に入室する時や支払いの時に QR コードを使ったシステムがあったり、台安病院では生活習慣を良くするプログラムがあったりなど病院によって独自のシステムや特色があって面白かったです。

観光&交流

観光では、夜市や Big city など台湾で有名な観光地を沢山回りましたが、特にジブリの千と千尋の神隠しのモデルとなった九份での観光がとても印象に残りました。日本では見る事ができない非日常的な雰囲気の色を見たり、色々な美味しい台湾料理を食べたりする事ができて楽しかったです。また、観光地ということもあり、ほとんどのお店の方が日本語を話していらしかった事にびっくりしました。

まとめ

台湾に行く前は楽しみな反面、言語や文化が日本と違うので不安でした。ですが、空港に着いた時にボランティアの方々に温かく迎えていただき、沢山お話して下さってとてもありがたかったです。それがきっかけとなり、積極的にコミュニケーションをとることができました。交流をしていく中で、スポーツを一緒に楽しむ事ができ、共通した話題で盛り上がる事ができ、言語や文化は違いますが自分達と考え方が変わらないこと

が分かりました。そのため、言語を使うことも勿論大事ですが、ジェスチャーなど言葉以外の面でも相手に伝えようとするのも大事だということが分かりました。また、病院見学や観光を通して台湾の病院や文化について知ることができたので良かったです。

謝辞

今回、台湾研修に参加させていただき、ありがとうございました。京都医療科学大学の先生方や事務の方を始め、研修先である台湾の先生方や、ボランティアの方、病院の方など沢山の方々のご協力のおかげでとても実りのある1週間を過ごすことができました。私自身、日本から出る事が初めてで、その研修先が元培醫事科技大學で良かったです。数多くの貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。



元培醫事科技大學の歴史資料館



九份① 千と千尋の神隠しの舞台



九份② 台湾の料理 肉圓（バーワン）



元培醫事科技大學の皆様